

理学療法士との連携（六中地区公民館の事例紹介）

前号（かたつむり6号）で紹介した、茨城県理学療法士会・内藤幾愛氏の講演での事例をもう少し紹介したいと思います。内藤先生は3級指導士の「神経」の講義を担当し、シル・リハ体操に深い理解を示されており、現在「烏山診療所」に勤務しておられます。



訪問リハビリの患者さんにシルバーリハビリ体操教室への参加を勧め、大きな治療成果を上げておられます。講演のなかでの事例について、ご本人にお話をお聞きしました。◎大森親夫さん(85才)「3年前、床に一人で座れない状態でした。

内藤先生に体操教室を紹介され家族に送迎してしてもらっていましたが、気が晴れてリラックスできます。今では往復2kmを杖を使い歩いて通っています。◎天貝勉さん(72才)智尋さん(64才)ご夫妻「家の中でも杖を使って歩いていた妻(要介護4)に、何とか回復してもらいたいとの一心で、内藤先生の紹介で体操教室に送迎していました。妻の介護に役立つと思い、講習を受け、指導士になりました。」智尋さんは「今は要介護1となり、低い山に登れるようにまでなりました。」と笑顔で。



かたつむりニュース

シルバーリハビリ体操3級指導士養成講習会について

令和元年度の3級指導士養成講習会の予定が発表されました。

6月の講習会は、すでに行われていますが、後半10月にも講習会があります。

10月の予定は、申込期間9月3日～25日。10月10日(木)・15(火)・18(金)・25(金)・29(火)・11月1日(金)です。初日は水戸健康プラザ(バス送迎)以降の会場は都和公民館です。定員を超えると抽選になります。問い合わせ・申し込みは土浦市地域包括支援センターうらら 029-824-0332まで。あなたも指導士になって介護予防活動を担いませんか？

ピアタウン体操教室始まる

イオンと同様に、真鍋のピアタウンでも体操教室が始まりました。毎月第1・3水曜日の午前10時から11時の予定で実施されている教室を取材しました。この日は28名の参加者で、指導士の号令に合わせて楽しそうに身体を動かしていました。

会場近隣の参加者が多かったのですが、だれでも参加できますよ。



指導士の救命救急講習会

かたつむりの会として、体操教室や各種イベントの安全安心な運営のために、研修ブロック単位で救命救急講習会を受講しました。土浦消防署の救急隊員の指導を受けながら、講義や心肺蘇生法及びAEDの使用方法などの実技に真剣に取り組んでいました。明るい笑い声が交錯する受講風景のなかにも、体操教室を預り参加者の生命を守るという気迫を感じました。



かたつむりの会では、高齢福祉課からの在宅ケア連携手帳を教室の全参加者に配布しています。教室参加の時には持参して下さい。

編集後記

かたつむりの会の新体制の出発に合わせ、広報編集委員も新出発をしました。四中地区が市川勇さんと須崎恭太郎さん、五中地区が宮田久美子さん、六中地区が鈴木徳次郎さん、新治地区が栗原恭子さん、に交代しました。前任委員の皆様ありがとうございました。

皆様のご感想をFax029-822-5273までお寄せください。編集責任者 泉谷正典

「かたつむり」第7号 令和元年6月17日発行

発行所：土浦市シルバーリハビリ体操指導士の会（かたつむりの会）

発行責任者：羽崎榮市 〒300-0011土浦市神立中央2-14-27 TEL029-831-8671